

日本鑄造工学会全国講演大会 若手鑄造エンジニア懇話会 2025 年度 子どもいもの教室 終了報告

東海支部 YFE の活動の一つである子どもいもの教室を本年度は日本鑄造工学会全国講演大会と合わせて大同大学で5月24日（土）、25日（日）の二日間にわたって開催した。今回は応募のあった小中学生だけでなく、その親御さんや全国講演大会に参加されていた企業の方々にも飛び入りで参加していただき延べ 57 名（大人 4 名含む）の方々がいもの作りを体験され非常に盛況だった。



当日は小中学生のお子様にいものづくりを知ってもらうために、融点が低く大がかりな溶解設備が不要なホワイトメタルのペーパーウェイトづくりを体験していただいた。お子様には 3D プリンターで作製した 10 種類（動物や乗り物などのモデル）の型の中から 1 つを選んでもらい、砂型を造型する作業を担当していただいた。型に貼り付ける立体シールを準備していて、お子様たちはそのシールを使って自分の名前を作ったり、星やハートのシールをきれいにデコレーションして自分だけの作品作りを楽しんでいた。



造型後の砂型への注湯、砂落としといった高温で危険が伴う作業はスタッフが行い、その様子を間近で見えていただいた。自分が選んだ模型の形や立体シールで作ったデザインがきれいにいものに転写されているのを確認できたときに喜ぶ表情が印象的だった。また、今回は親御さんが鑄造関連の職業についているお子様も参加されており、「使っている金属の材質は何か？鉄とどっちが固いか？」といった鋭い質問があってスタッフも驚きながら丁寧に説明を行った。親御さんからは「なんの砂を使っているか？家庭用のヒータで溶解可能か？家でもやってみたい。」といった声をいただいた。

いものづくりの楽しさを体験してもらうと共に、身の回りの鑄物製品にも興味を持ってもらうことができたと感じた。今後も子どもいもの教室を通し、皆様に鑄造に関心をもっていただけるよう活動していく。

今回の子どもいもの教室にご参加いただいた皆様、YFE 幹事および有志の皆様、当日お手伝いいただいた岐阜大学、岐阜高専の学生の皆様に厚くお礼申し上げます。

（新東工業株式会社 小倉 裕一）